

解放地域の復興に向けた取組と今後の見通し

解放地域における取組についてはこれまでの経済トピックにおいても取り上げてきましたが、3月 15 日に国会承認された解放地域の復興に係る2021年予算の執行状況の報告がなされ、4月 12 日にはアリエフ大統領より解放地域の復興プロジェクトの見通しについて発言がありました。以下、それぞれのポイントを報告します。

1. 解放地域の復興予算の執行状況

(1) 2021 年に解放地域の復興のため約 21.8 億マナトを支出(1 米ドル=1 マナト)。うち建設工事費として約 19.6 億マナト、その半分を2県(フズリ県、シュシャ県)、残りを6県(ジェブライル県、ゼンギラン県、ケルベジェル県、ラチン県、グバドル県)向けに支出。

(2) 2022 年復興予算(合計 22 億マナト)のうち、第一四半期(1月~3月)に約3億マナトを執行。地雷除去の取組を加速化するため、約1億マナトが投入される見込み。

2. 個別プロジェクトの見通し

(1) アグダム及びフズリのマスタープランは既に政府承認がなされ、工事が始まっている。シュシャ、ジェブライル、ケルベジェル、ゼンギラン、グバドル、ハドルト及びスゴブシャンのマスタープランについては 2022 年中に取りまとめられ承認される見込み。また、ゼンギラン県アガル村では 2022 年中に住民が移転し、フズリ県ドブレタルリ村は 2022 年から再建作業が始まる見込み。

(2) 2022 年はフダファリン、グズガラス(イラン国境アラズ川)の 2 か所で計 240MWの水力発電所が建設され、5か所の小水力発電所が再建される見込み。また、海外企業からケルベジェル県とラチン県における風力発電所の建設申請がある。ジェブライル県における太陽光発電所の建設については BP との交渉が進行中。

(3) イラン経由でナヒチバンに通じるザンゲズル回廊の建設も継続中。バルダとアグダムとの間の鉄道建設工事が続き、2023 年に試運転される見込み。また、アグダムとフズリの鉄道駅の建設プロジェクト案が提出される予定。ゼンギラン国際空港は 2022 年開港、

ラチン国際空港は 2024 年建設予定。

(4) ナフタラン市からタリッシュ村までの道路は 2022 年に開通し、スゴブシャンまで繋がる予定。ラチンを迂回する新しい代替道路も 2022 年の開通を予定。また、ケルベジェルとイステイス間的高速道路の建設が続けられる予定。

(5) 解放地域における灌漑プロジェクトとして、大容量16億m³のフダファリン貯水池(上記水力発電用ダム)等が建設予定のほか、新しい貯水池がゼンギラン・グバドル地域に建設される。これらにより近い将来 1 万 ha の土地を灌漑することが可能。

(以上)